

2021年10月23日

長野県感染対策研究会
代表世話人 花岡正幸
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会
担当者 内田美咲

信州インフェクションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告
～2021年9月データについての報告～
(データ集計日：2021年10月23日 集計対象施設数：60施設)

2021年9月のVRSA、VRE、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。
上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、
下記問い合わせ先までご連絡ください。

<MRSAの分離状況について>

長野県全体の分離率は5.91%で、ほぼ横ばいで推移しています。JANISでの全国の分離率は
6.41% (2020年 年報) です。南信地区で分離率が低下しました。

<多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は0.02%で、東信地区で1例分離されています。JANISでの全国の分離率
は0.03% (2020年 年報) です。なお、1例でも分離が認められたご施設には、感染対策ご担当
者様宛に別途メールにてご連絡申し上げます。

<第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は2.80%でした。北信地区の分離率が大幅に上昇し、東信地区も上昇して
います。中信地区では8月に分離率の上昇が認められましたが、9月は低下しています。JANISで
の全国の分離率は3.72% (2020年 年報) です。JANISで2015年集計分より用いられている第
三世代セファロスポリン耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSSでの判定基準の方が厳しく設けら
れているため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3
例以上分離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げてお
ります。

耐性菌検出検査やSICSSデータ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者ま
でお問合せください。

【SICSSのデータを用いた学術活動について】

SICSSのデータを用いて学術活動(学会発表や論文執筆など)を行う際には、必ず下記担当者
までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

問い合わせ先 信州大学医学部附属病院 臨床検査部 堀内 一樹 TEL; 0263-37-3493、 e-mail; hori9000@shinshu-u.ac.jp
--